

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 羅臼町立羅臼中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫
 中学校 中高一貫 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 ()

所在地 〒086-1823

北海道目梨郡羅臼町栄町104番地

E-mail j.h-rausu104@sage.ocn.ne.jp

Website _____

児童生徒数 男子 55 名 女子 45 名 合計 99 名

児童・生徒の年齢 13歳～15歳 ー

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、平成 29 年度のテーマを「自立した大人になるための基礎を身に付けた生徒の育成」として、ESD をふるさとキャリア教育の推進と捉え、ESD の実践を通して「自己管理する力」「自ら学び考える力」「人間関係を築く力」の育成とその基盤となる「主体性」「自己肯定感」の醸成を目標とした。

具体的には、小中高一貫教育におけるふるさとキャリア教育を柱に、①クマ学習・生態系学習、②小中高ボランティア活動、③職業体験学習、④羅臼町PR活動を実施した。

① クマ学習・生態系学習

知床財団などの協力を得て、ヒグマの生態を正しく理解するとともに、人間がクマに及ぼす影響を把握し、遭遇した時の対処法などを学んだ。「人とクマが共存する町、羅臼」をデータや実体験などから考える体験型の学習である。生態系学習では、川や海の周辺に生息する動植物や海と森をつなぐ知床の豊かな自然の全体像を学んだ。知床は独特な地形により、下流でも上流域の貴重な生物が多数存在することや、地域の環境施設を利用した講義などで学習を深めた。

② 小中高ボランティア活動

世界自然遺産の町に相応しいマナーやモラルの育成を目指し、小中高生が一堂に会し、羅臼町清掃活動を実施した。高校生をリーダーとして校種の枠を超えて力を合わせることで、自然環境と社会生活との調和を図る環境保全活動を考える良い機会となっている。

③ 職業体験学習

町内外企業や官公庁などの協力の下、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付け、自分自身を発見し、将来の生き方や進路について主体的に考える力を培うことを目的として職業体験学習を行っている。企業の方々の温かい指導の下、挨拶や言葉遣いなど、礼儀の大切さを改めて学ぶ機会となった。

④ 羅臼町PR活動

羅臼町観光パンフレットの配布を通じた、『羅臼町PR活動』を各学年で実施している。観光パンフレットは、普段の学習で培った知識・技能をベースに仲間と協働し、考えを深めながら総合的な学習の時間に取り組んでいる。1学年が「観光」、2学年が「自然」、3学年が「食」を視点としてパンフレットを作製し、最後に3つの視点がまとめられ観光パンフレットが完成する。

今年度は「日本一の自然」、「日本最後の秘境知床 魚の城下町」、「ここから始まる感動」と題された3種類のパンフレットを仕上げた。生徒達はパンフレットの配布を通じた羅臼町PR活動により、地域内外の大人の方々と触れ合い、社会性を高めている。社会と接することで新たな学びが生まれ、自身を振り返り、見つめなおす絶好の機会となっている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(ふるさとキャリア教育)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材

羅臼町副読本「知床学」
「キャリア教育」資料集－ 文部科学省・国立教育政策研究所 －
研究・報告書・手引編 平成27年度版

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

ふるさとキャリア教育の観点から、生徒に身に付けさせたい資質・能力の視点を人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力として、教育課程を編成するとともに、各教科や総合的な学習、特別活動で身に付けた資質・能力を様々な場面で効果的に生かせるような工夫をおこなっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業に3年間取り組んできた成果と課題を明らかにし、学校間連携を一層強化することで、「自己管理する力」「自ら学び考える力」「人間関係を築く力」の育成とその基盤となる「主体性」「自己肯定感」の醸成を目指している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題

年2回の学校関係者評価の観点に、「自己管理する力」「自ら学び考える力」「人間関係を築く力」の育成とその基盤となる「主体性」「自己肯定感」の醸成に関する項目を設け、学校の教育活動を評価している。

本校の生徒は学校生活への満足度も高く、達成感や成就感も味わっている。人間関係の形成に向けて、お互いの良さを認め合える場面を大切にしていかなければならない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

羅臼町PR活動の中で、パンフレットを作成し、ふるさと羅臼の良さを発信している。また、羅臼町ユネスコスクール発表会では、職業体験で学んだ内容をわかりやくまとめ、パワーポイントを活用して発信した。

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進連携フォーラムに参加し、地域の自然や産業等の教育資源を生かした取組の充実について、パネルディスカッションを行った。学校から離れ、地域や社会から多くのことを学んでいる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

知床財団や観光協会、漁業協同組合等に協力を仰ぎ、ふるさと学習の充実を図っている。また、商工会、自治体との協働による職場体験学習などキャリア教育への理解を得ている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

羅臼町幼小中高一貫教育による他校との連携強化と羅臼町ユネスコスクール発表会、中高合同講演会による地域ネットワークが形成されている。

⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容

ふるさとキャリア教育の実践を通して、生徒の「ふるさと羅臼」への理解が増しているとともに、自身のキャリアへの意識に変化が現れてきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画

平成 29 年度で本校は閉校となり、平成 30 年 4 月に知床未来中学校として新たなスタートをきることになるため、平成 30 年度の活動計画は今後検討を重ねていく。